

九頭竜川流域委員会について

近畿地方整備局および福井県は、九頭竜川水系の「河川整備計画」を策定するにあたり、学識経験者の意見を聴くための九頭竜川流域委員会を平成十四年五月に設置し、これまで二十回の委員会が開催されました。

十月二十八日に開催された第二十九回委員会では、「足羽川ダムの新旧ダム計画(案)の比較」「瀬切れの状況と対策」および「九頭竜川水系の河川整備に伴う河床の安定性」について説明がなされ、意見交換が行われました。

足羽川ダムの新旧ダム計画(案)の比較について委員会では、治水効果・流木・土砂対策・コスト・社会的影響の観点からの総合的な評価結果を説明し、これまでどおり池田サイトでダム計画の検討を進めることとなりました。

「瀬切れの状況と対策」について、「足羽川で夏季に発生している瀬切れの発生状況」、「気象の二極化による濁水の拡大の可能性」、「農業の実態や魚類の遡上阻害」などが説明されたうえで、その対策として「水利権者との調整」、「湧水の利用」、「放棄田の利用」、「ダム供給」との四つの案が提示され、活発な議論が行われましたが、各委員意見の隔たりが大きく、結論は次回に持ち越しとなりました。

続く十八年一月三十一日に開催された第三十回流域委員会では、九頭竜川水系河川整備基本方針の状況についての報告の後、前回結論を持ち越され

た「足羽川の瀬切れ対策検討結果」や、「新旧ダム計画に対する関係自治体等の意見要望」、「足羽川ダム計画の目標と規模」の説明がなされ、審議が行われました。

「足羽川の瀬切れ対策検討結果」について、前回の委員会で提示された瀬切れ対策に対し、「瀬切れに対する地元への確認」、「瀬切れを解消した場合の問題点の考慮」との意見があり、関係住民や専門家など多方面からの影響を検討のうえ、瀬切れ対策をダムで対応するのはコストがかかる上、緊急性が乏しいとする河川管理者の説明に対し、委員会では瀬切れを人為的に解消するのは好ましくなく、足羽川ダムは従来の水を貯めない方向の議論に沿い、治水専用ダムとして整備していく方向で理解の一致が図られました。

「足羽川ダム計画の目標と規模」については、河川管理者からダム事業計画としては基本方針対応の施設として四川導水のダムとすること、整備計画期間中は水海川からの導水を行う一川導水のダムを整備することを提示しました。また、手戻り工事(重複投資)による建設費の増大抑制、地域コミュニティの分断等の社会的な影響の抑制および自然環境への影響抑制等のため、整備期間中に整備するダム本体と水海川からの導水施設は基本方針を見据えた規模とするとの案を提示しました。

それに対し、委員会としては、流量 毎秒二千六百m³に対応するといっつ点や導水路等による環境影響等について質問が出されたこ





とから、次回委員会で再説明することになりました。

また、審議予定であった「住民意見の聴取」については時間切れのため、次回での審議となりました。

今後、残りの審議事項を終えた段階で、河川管理者より河川整備計画原案を提示する予定です。

その後、流域委員会と住民からの意見の聴取を実施しこれを踏まえ河川整備計画(案)の作成を行った上で、関係自治体の長に示すとともに意見聴取を行い、これを踏まえ河川整備計画の策定を行うこととなります。

委員会は、公開で傍聴できますが、これまでの開催状況や議事内容等につきましては、「九頭竜川流域委員会ニュース」を毎回発行しておりますので、近畿地方整備局や福井県および関係先機関でご覧下さい。

また、インターネットの下記のホームページをご覧くださいませ。

<http://www.fukui-noc.go.jp/fyuki/index.html>

福井市洪水避難地図(洪水ハザードマップ)の活用について

福井市では、昨年十月に「福井市洪水避難地図(洪水ハザードマップ)」を全市に配布しました。今回はこの地図の活用方法について紹介いたします。

洪水ハザードマップの活用方法

(1)洪水ハザードマップを見て自分の家に印をつけてください。

①自分の住んでいる場所がどのくらい浸水する可能性があるか知っておきましょう。

(2)避難場所を確認しましょう。

①避難する前に、避難場所を確認し、また、万一途中で家族が離れ離れになった時のために集合場所を決めておきましょう。

②水害時の避難所開設は、原則として、公民館、小学校の順になります。中学校その他の施設は、避難人数や状況に合わせて開設します。

③緊急時や避難場所周辺が冠水しているような場合は、身近にある高い建物や地盤の高い所に避難してください。

④土砂災害から身を守るために、早めの避難を心がけましょう。

(3)各家庭で話し合ってください。

わが家の避難場所、家族の集合場所、避難時の緊急連絡先、非常持ち出し品の置き場所を確認し、各家庭で災害時にどのような行動をするのか話し合ってください。

洪水ハザードマップ活用方法紹介VTR

福井市では、市民の皆様には洪水ハザードマップの活用していただくために、活用方法についてわかり易く解説したVTR(DVD・VHS)を作成しました。このVTRを使って、地区の集會や、自主防災組織の集會等で学習会を開いて活用してください。なお、VTRについては河川課にお問合せいただければ貸し出いたします。また、みどり図書館・各公民館にも設置する予定です。



【共同発行人】 ◎ご意見、ご感想等、みなさんの声をお寄せ下さい。

国土交通省近畿地方整備局
足羽川ダム工事事務所

〒918-8239
福井市成和 1-2111 ポラリスビル
TEL(0776)27-0642代 FAX(0776)27-0643
<http://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/index.html>

福井県土木部河川課
ダム建設・足羽川ダム対策室

〒910-8580
福井市大手 3-17-1 県庁
TEL(0776)20-0486 FAX(0776)20-0696
<http://info.pref.fukui.jp/kasen/index.html>

福井市建設部河川課

〒910-8511
福井市大手 3-10-1 市役所
TEL(0776)20-5492 FAX(0776)20-5745
<http://www.city.fukui.fukui.jp/siyakusy/kasen/>